

## PDA 京都高校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021年3月23日(火) 13:30-17:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：6校、8チーム (京都府立嵯峨野高校、京都府立鳥羽高校、京都府立南陽高校、京都市立日吉ヶ丘高校、京都府立峰山高校、京都市立堀川高校)

参加者：生徒33名、教員11名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、一橋大学、名古屋工業大学  
一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)



開会式では、京都府立園部高校校長伊藤先生より、「英語は国際理解をし、自分の考えを発信していく上でとても重要です。この即興型ディベートを通して、様々な交流を可能にする力身につけてください。」とエールが送られました。次にPDAスタッフより、参加した6校の学校紹介・ルールの確認・POI(Point of Information)の練習を行いました。POIは相手チームのスピーチ中に質疑応答を要求することができるルールです。片手を頭、もう片方の手を伸ばしたポーズで“POI!”と言っていきます。これは即興型英語ディベートが昔のイギリスの議会を模しており、そのときの名残だと言われています。POIの練習では元気よくPOIを行いました。



京都府立園部高校校長伊藤先生のご挨拶



POIの練習

第1ラウンドのお題は「**We should prohibit cosmetic surgery. (美容整形を禁止すべきである。)**」でした。肯定側からは整形のリスク、中毒になる可能性、個性が失われてしまうこと、否定側からは自己実現やコンプレックスを克服することの重要性など様々な観点から議論されました。ジャッジ中はコメントをメモにとるなど次のラウンドに活かそうとする様子が見られました。



鳥羽高校(左上) vs 嵯峨野高校(右上)



嵯峨野高校(右上) vs 峰山高校(中央下)

続く第2ラウンドのお題は、「*All senior high schools and junior schools in Japan should be unified.* (日本のすべての高校と中学校は中高一貫校に統一するべきである。)」でした。人間関係の学びを得られるのはどちらか、より深い交友を築けるのはどちらか、勉強にとっていいのはどちらかなどの観点について、比較を行いました。ディベートが終わると、お互いのスピーチの内容を確認したり、普段どのようにディベートをしているのか、部活は何をしているのかなど交流を深めました。



堀川高校



交流の様子(日吉ヶ丘高校(左)、嵯峨野高校(右))



ジャッジのフィードバックを聞く様子(南陽高校(右上)、鳥羽高校(左下))

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*With introducing e-learning, the number of classes which teachers teach should be reduced by half at high school. (e-learningを導入し、高校教員の担当授業数を半減すべきである。)*」でした。先生の負担、授業の質などについて議論を行いました。ディベート後はジャッジをした7名の教員ジャッジによる投票の結果、Oppositionの勝ちとなりました。



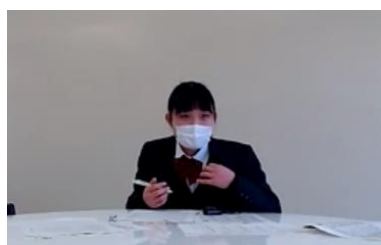
PM 嵯峨野高校



LO 鳥羽高校



MG 南陽高校



MO 峰山高校



LOR 日吉ヶ丘高校



PMR 堀川高校

閉会式では、PDA 代表理事である中川智皓（大阪府立大学工学研究科准教授）より、「これから先、オンラインで何かを行うという機会はどんどん増えて行くと思います。大学の留学もオンラインで行われていることが多いです。今回はオンラインでの開催ということでしたが、今後もこのような機会を最大限活かして、オンラインで、そして英語で話すトレーニングに励んでください。また、POIを通したやりとりができれば、ディスカッションもできるということになります。POIにもチャレンジするよう頑張ってください。」とエールが送られ、PDA 京都高校即興型英語ディベート交流大会の幕が閉じました。



PDA 代表理事 中川智皓による講評

## 【表彰】

### 〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ PM [redacted] さん (嵯峨野高校)
- ・ LO [redacted] さん (鳥羽高校)
- ・ MG [redacted] さん (南陽高校)
- ・ MO [redacted] さん (峰山高校)
- ・ LOR [redacted] さん (日吉ヶ丘高校)
- ・ PMR [redacted] さん (堀川高校)



### 〈チーム賞〉

- ・ 1位 嵯峨野高校 B
- ・ 2位 峰山高校
- ・ 3位 鳥羽高校 B



1位 嵯峨野高校 B



2位 峰山高校



3位 鳥羽高校 B

### 〈ベストディベーター賞〉

- ・ [redacted] (嵯峨野高校)
- ・ [redacted] (嵯峨野高校)
- ・ [redacted] (嵯峨野高校)
- ・ [redacted] (鳥羽高校)
- ・ [redacted] (鳥羽高校)
- ・ [redacted] (南陽高校)
- ・ [redacted] (峰山高校)
- ・ [redacted] (堀川高校)



ベストディベータ賞

### 〈POI 賞〉

- ・ [redacted] (嵯峨野高校)
- ・ [redacted] (峰山高校)
- ・ [redacted] (堀川高校)
- ・ [redacted] (堀川高校)



POI 賞

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・相手の意見、自分の意見をしっかり理解して、話したり聞いたりできた。（峰山高校）
- ・普段他校と交流出来なかったのが新鮮だった。（鳥羽高校）
- ・普段ディベートできない人とディベートできた。（嵯峨野高校）
- ・友達と仲良く話しながら取り組めた。（堀川高校）
- ・とてもレベルが高くて、すごく勉強になり、参加してよかったと思います。（鳥羽高校）
- ・他の高校の方と余り話す機会もないので、こう言った機会があつてとても楽しかった。ディベートが終わったあともうちよっと交流したいなと思った。（鳥羽高校）
- ・初めてでどのようなものなのかあまり分からなかったけれど、皆さんが話す英語を聞いてすごく刺激を受けたし、立論や根拠の提示など難しかったがとても積極的に議論を進めている仲間に、私も頑張ろうと思えて、深い学びができたと思うから。（堀川高校）
- ・同じ京都の公立高校でもペラペラ英語話せてる人がいっぱいいて刺激をもらいました。（鳥羽高校）
- ・英語で話すことが、普段あまりないので良い経験ができた。もっと、英語でたくさん話せるようになりたいと思った。文法があまり出来てなくても、フィーリングで話せるようになりたい。（鳥羽高校）
- ・新たな視点を考えることが出来た。また、エキシビジョンディベートでは、他の高校の皆さんのディベートの仕方を見て、学べるが多かったです。自分のこれからの意見発表に生かしていきたいと思うものが沢山あり、たのしかったです。（日吉ヶ丘高校）
- ・ディベートはやったことがなくて始めてだったのですが、新しい経験としてやれてよかったと思いますし、仲間とも協力してやるのが楽しく感じました。英語が一番苦手な教科なのですが、沢山のの人に支えられなんとか最後までやり切ることができてよかったと思います。この経験を沢山のところで役に立たせるように頑張りたいと思います。（鳥羽高校）
- ・一人一人のコメントや肯定側、否定側どちらもだめなところとかよいところを伝えてくださったのでとても分かりやすかったしこれからの課題が見つかった。はじめてこういう大会に参加してははじめは緊張しててこわかったけれど実際やってみると勝ち負けに関わらず意見をいったり反論したりできて楽しかった。また参加したいと思いました。ジャッジのひとの意見が的確でためになりました。（嵯峨野高校）
- ・英語で話すことの難しさ、また逆に楽しさを知ることができたので良い機会になりました。ありがとうございました。（南陽高校）
- ・色々な人の考えが学ぶことができ、また、英語で積極的に発言する高校生の仲間たちにとっても刺激を受けました。英語のスキルを上げ、素早く意見をまとめる力を身につける良い機会になった。（南陽高校）
- ・エキシビジョンマッチで本当に遠隔地のチームメイトと相談しながら準備して対戦することが経験できたのは生徒にとって良い経験になったと思います。（教員）
- ・以前からこのディベート大会に生徒と参加したいと思っておりました。今回は zoom を使用していたため、臨場感には欠けたかもしれませんが、移動の手間がなく、生徒にも参加を呼びかけやすかったです。ありがとうございました。（教員）
- ・久しぶりに参加し刺激を受けました！ オンラインでもしっかりエキシビジョンディベートも成立しレベルの高いものまで見られたので良かったです。ZOOM で他校の生徒同士がつながり積極的に一生懸命ディベートしていて素晴らしかったです。（教員）